常磐毎日新聞

# 記元節を迎へ
## 日本精神發揚の運動
### 期間は二月五日から一週間
### 殊に敬神崇祖の美風を作興

事變三年目の記元節を迎へる日が近づいたので平市では「日本精神發揚週間」を設けわが國固有の精神を高調して東亞新秩序の建設に邁進することゝなり準備中であるが、同週間期間は二月五日から十一日までゝ實施方法は左の如く決定した

一、紀元節奉祝——(イ)官廳學校は奉拜式又は祝賀式上特に趣旨の徹底をはかる（ロ）神社學校、公會堂等で祝賀の方法を講じ趣旨を徹底させる（ハ）當日午前九時を期し國民奉祝の時間とじ式に列しないものは各家庭で夫々宮城遙拜を行ふこと（このために鐘、サイレン等を以て時刻を周知せしめる）（ニ）建國祭の行事は當日又は本週間中に一層その實情を擧ぐる事

二、週間中の强調實施事項——（イ）八こう一字の精神の闡明日本文化の發揚、東亞新秩序の建設等に關する講演會座談會開催（ロ）敬神崇祖の美風作興（ハ）十三年十一月政府聲明十二月二十二日の總理大臣談趣旨徹底（ニ）剛健なる精神涵養のため集團的勤勞奉仕作業團體行進、武道大會の實施

---

## 性源寺墓地に
## 老爺の凍死體
### 元磐越銀行の小使
### ▽……薄命な其一生

十八日午後一時頃平市長橋町性源寺墓地内に年齢六十五、六歳の老爺の凍死體あるを通行人が發見平署に屆け出たが檢死の結果湯本町三函生れ目下住居不定酒井福壽（六六）と推定されるに至つた

同爺さんは元磐越銀行の小使をしたことのある男で數年前妻に死別し乞食同樣に各所を彷徨してゐたものである

---

## 就職希望兒
## 一躍三倍に
### 平職業紹介所が
### 各小學校調査

平職業紹介所では今春學窓を巣立ち社會の第一線に立たんとする平市及び石城郡下の小學校兒童の就職希望を取り纏めてゐるが就職希望兒童は昨年の三百名に比べ一躍三倍以上の一千六十二名に上つてゐる

男子の志望は時局柄軍需工業方面の職工が最も多數で女子は依然會社工場の事務見習が多い

---

## フグ大漁
### 皮は工業用

小名濱町は鰯漁期に入りて漁獲高は相當に上る筈だが僅かに午前中の出漁で歸港すると云ふ爲めに思ふ樣な大漁には遭遇しないがそれでも十六日夕には四萬粁の水揚があり時價一圓五十錢から二圓臺で六萬円内外の水揚を示して居る、底曳漁業も鯛大小、石持、鮃等で毎日二千圓内外の水揚げがあるが茲に注目を曳くはふぐの大漁である、就中虎ふぐは一貫五六百目もあり時價五、六圓に上り皮革は工業用に肉は一般からの需用多く非常の勢で捌かれて居る

---

## 高木軍曹
### 戰死の公報

小名濱町字本町高木乘吉陸歩軍曹は出征以來各地に武勳を表はし大別山總攻擊に參加し昨年十月二十二日戰死の報に接して居たが未だ公報なき爲め生死の程を半信半疑の内に今日に至つたが昨夜公電により名譽の戰死を遂げた事が判明した

---

## 小名濱賭博

小名濱町字松ノ中仲使黒田雅夫（二四）會田一郎（三二）金親茂次（二五）の三名は十七日午後三時頃近所の五十嵐幸次氏方で花札賭博開張中平署員に踏込まれ檢擧された

---

日刊
一月十九日　夕刊
定價　一部金貳錢　一ヶ月金五拾錢　郵稅五錢
廣告料普通一行五拾錢、場所指定一行七拾錢
日曜祝祭日の翌日休刊
發行兼編輯人印刷人　坂本忠治
磐城平　二子・長橋町三五
發行所　常磐毎日新聞社　電話　六三〇番
印刷所　常磐毎日印刷株式會社（振替口座東京　四〇二一〇番）

印刷の御用は
常磐毎日印刷株式會社へ
電話六三〇番

---

## 農務課長
## 平市巡視

本縣新任農務課長伊藤彥武氏は本十九日來平、團體事務所、市役所、農産物檢査所平支所、農試分場を視察した

---

## 植田の狩獵

植田狩獵報國會ではこの程會員から集つた野兎毛皮二百六十三枚と羽毛六貫匁の獻納手續をとつたが今後更に繼續をも申合せた

---

## 學校豫算
### 廿日に開く
### 學務委員會

平市學務委員會は廿日午後一時から市會議事堂に開き十四年度の學務豫算を附議する由

---

## 敬神を涵養

上遠野村小學校では皇軍の武運長久と敬神崇祖の念を墜發するため毎日放課後各學年毎に鄕社八幡神社を詣で村民を感激せしめた

---

## 鮫川發電計劃と共に
# 大工場を誘致
## 小名濱地方更に開發
### 本縣經濟部長が折衝中

東北振興電力會社が調査を急ぎつゝある鮫川發電計劃に關しては本月末を以て完了するので縣ではその報告をまち善處する段取になつてゐるがこの發電水利開發と相俟つて使用水量百三十五個を工業用水に利用し小名濱地方へ一大工場を誘致すべく坂井縣經濟部長が今回上京に際しても關係者と折衝するところあつた、水量さへ確實に利用出來れば該工場誘致は極めて容易でこれに要する電力六萬キロといふ大事業である水量問題の基礎をなす振興電力の調査結果にもとづき坂井經濟部長は二月早々再び上京、關係者と兩度の折衝を行ふ筈

實現の曉は同地方に福音なだけ双手をあげて設置方待望してゐる

---

## 强盜餘罪
## 續々自白
### 辻强盜も彼

既報—平署菊地部長刑事及び野地刑事の有力な聽き込みにより舊臘三十一日小名濱町草野屋料理店小野りん方へ押し入つた强窃犯として手配、奈良市遊廓福本樓で捕へた探偵小說家崩れの中村町原釜生れ强盜犯人前科二犯荒木寅雄（三五）は其後引續き取調べを受けてゐるが舊臘二十三日中村町染物業三浦喜代助氏（五六）を師走の辻で襲つた强盜傷害犯人も同人ではないかとの疑ひで嚴重追究の結果十八日遂に犯行を自白した

荒木は去月廿三日叔父の中村町太田甚之助方の佛事に招かれた際親戚の荒木ふじゑさん方で子供が死亡したので同家に立寄り更に同家から親戚に計報を知らせてほしいと依賴されたので再び中村驛付近をはいくわい中前記三浦に出會つたので突嗟に大阪で求めた兇器を使つてみたくなり顏面を毆りつけ倒れるのを見るやめちや／＼に斬りつけそのまゝ逃走したものだが

これより先彼が千葉刑務所に入る以前小名濱町三河屋酒店に忍び込み金庫を破壞して現金百餘圓を窃取してゐた餘罪も自白した

---

## 實來丸遭難
### 吹雪の爲めに
### 暗礁に乘上ぐ

小名濱町高橋友吉氏所有船實來丸（一八トン）は昨夜吹雪のため進路を誤り江名町の折戸海岸で暗礁に乘り上げ目下引上げ救助作業中だが乘組員其他には何等の被害がない模樣である

---

## 商人講座
### 第三編
## 廣告文字としての
## カナモジに就いて
### オウキ・ジュン
—（三）—

⊠字体のシラベがタイセツ

廣告は　イクラ　口語体で　左ヨコガキで　やツても　字体が　カタグルシイ　かみしもを　きている　漢字を　使ツていてわ　ダメ。漢字でわ　イマまで　述べた　ように　ルビを　つけて　讀ませるように　なるコトと　字体ソノものに　變化がない　コトの　大きな　缺點が　ある。漢字を　イクラ　工夫した　トコロで　變化は　みえない。ソレだけで　廣告効果の　半分は　おちている。コノ點、もツとも　ヨイのわ「カタカナ」だ　コレは　イクラでも　面白いほど　形が　變る　シロモノだ。「ナショナル」の　カタチを　見給え。アノ字体の　スマートさは　ナンとも　云えない。ナンと　なく　人を　ひきつける　チカラが　ある

⊠色と字体

モチロン　色は　單色。シカモ　原色が　ヨイ　と云うのが　タテマエだ　紫色などを　ウマク　使いこなすにわ　ドウしても　紙質と印刷が　モノを　云ツて　くる。例えば　アートの　極上紙　でなくてわ　ヤワラかい　感じが　出ないから　たいていは　ダメ。ヤハリ　原色を　えらぶコト　コノ色は　ドコカ　人間の心の　琴線に　ふれる　トコロが　ある　カタカナの　字体と　オナジ　トコロが　オウイ。カタカナに　原色を　くばれば　マズ　無難。コレも　タイセツな　ココロエの　ヒトツ

⊠ツケタリ

くわしい　コトを　知りたい　方は　ツギえ　東京　芝局　私書函　四四・東京　率能研究所　又は　東京市　芝區　芝公園　カナモジカイ　に　問いあわせられたい　コンで　商人講座を　ヒトマズ　おわる　コトと　する（終）

---

### 小名濱支局通信
## 開業醫の動向
### （十）
支局長　小野務平

▽會田醫院潛勢力△

會田君が先考に對する追慕會と鄕黨に對する報恩の思念と、而して此の結晶が基礎となつての努力精勵は何で繁榮せないで濟まう、即ち其報酬として生み出したものは患者の日に日に增加して行く狀態に病室の狹隘に次ぐ增築、增築に次ぐ宅地擴張と云ふ順序に順潮に進んで今日の會田醫院は宅總坪數數百坪の大を占め、此れに增築を計畫して愈々大小名濱に相應しかるべき病室として聊かも遜色のない病院經營に大童となつて寧日ない奔走には誰あつて敬服しない者はない

その上天資活潑の處まで故會田恩師に似て居る上に快活なる談話振りと對手に厭味を與へぬ笑顏の優しさは小兒すら先生を恐れしめざる天禀的の一德をも備はりこれが爲めか小兒科としての受けもよく內科、花柳病科等不可ない所に小名濱切つてつけの先生である事は何と云ふても本町の至寶的存在であると敬意を表する次第である

今や時代は厚生省が生れ、保健衛生の上に體位向上が國策上に設し難き重大の任務を掌る事となつた、此時此際醫業の上に一大革命的變化も來るであらう事は想像し得られないでもないが會田君の如き覺悟を以て大衆的に時代遲れの昔し型を破つて時代即應の機智に富む手腕あり力量ある以上醫業の上に何なる鐵槌が下さうとも聊かも憂ふ事のないまでに基礎が出來る可能性充分であれば何處吹く風で終始出來る事を喜ぶもので其準備が君には充分ある事を熟知する一人で將來を囑望し此の活躍を期待し此稿を結ぶことにした（完）

---

## 一千圓
### 銃後の資金

上遠野村では銃後運動の徹底を期すため明二十日から寄附金一千圓の目指し資金造成の活動を開始する

---

## 參事員會
### 廿一日開會

平市では二十一日午後一時から參事會を開くが協議事項は豫算更正、寄附採納、區長の補欠推薦、基本田貸與の件其他である

---

## 古鍛冶青年
### 慰問袋調製

平市古鍛冶町青年團では目下前線で活躍してゐる將兵に慰問袋を送ることになり來る二十日團員總出動で區內の廢品回收運動を行ふ

---

## 大竹君還る

一昨年十月勇躍出動中支方面で赫々たる武勳をたてた前いはらき新聞平支局長大竹重氏はこの程無事〇〇原隊に歸還されたが來る二十四日午後零時五十一分着で懷しの故鄕平に歸ることになつた

---

## 親和會々旗

磐炭長倉坑の從業員より成る親和會ではこの程會旗を新調十七日これが樹立式を擧行しだ

---

## 英靈の
## 入魂式
### 小名濱町で

小名濱町では今回日清、日露戰役、今次事變に至るまでの本町出身護國の英靈二十一柱に對し法名並に宮頒布しその靈を慰む計劃中のところ愈々法名も立派に名來上り近く僧侶を招き入魂式を擧行し各組長を經て配付することになつたが一般家庭では佛壇に安置し朝夕その冥福を祈ることになつた

---

## 小名濱支局宛
### 戰地より便り

海軍少佐小野四郎君（承前）もう江岸も見えて來ました、今度はズツト上の上の方で武百特殊の仕事に從事致します、軍の機密上何も申上げられません今後一層御沙沙勝ちの事と存じます

出發に際し吾郎が（令弟にして小名濱實業教諭）前日會ひに來て吳れました、では一つ最前線で海軍の第一線で大いに活躍致します、何卒御期待下さい

金成兄は（陸軍大尉金成有光君第二師團第四聯隊付）出征して居るんでせうか、多分何れかに出征して大いに活躍されてる事と存じ兄の武運長久を蔭ながら祈つて居ります

私も今時事變で二度前の上海事變を合せて三囘なか／＼武運に惠まれて居ります、武人として實に結向の次第と喜んで居ります

向寒の砌御家內御一同樣切に御自愛の程を願ひ上げます、尙皆々樣方へも何分よろしく御願ひ申上げます

先は取り急ぎ右の一報申上げます

上海の途上長崎丸にて
少佐　小野四郎

---

## 平市人事

◎出生

△久保町四鈴木留春氏六女美智子さん

△立町四目下東京市日本橋區箱崎町四ノ一六伊藤喜代太郎氏長女藤子さん

△久保町三七目下湯本町字榮田一四渡邊又一氏二男範雄君

◎婚姻

△久保町三七渡邊又一氏（三四）秋田縣北秋田郡阿仁合町銀山字上新町七一菊地文さん（二九）

---

JOHK

今晩の部

▼後六、〇〇（子供の時間）お話「安壽と岩木山」坂本功

◎漁村の夕◎

▼後八、〇〇 文化演藝「鯨」

▼後八、三〇 漁村俚謠「沖上音頭」外

▼後九、〇〇 ラヂオドラマ「マ島の人々」細原原德作

明日の部

▼前一一、〇〇 小學生の時間「尋三」ラヂオスケッチ「冬の夜」兒童劇同好會

▼後〇、〇五「和洋合奏」一、壽猿二、接續曲集、江東管絃樂團（伴奏）小畑錦浪

▼後四、三〇—六〇〇 大相撲春場所實況（九日目）兩國國技館より中繼

▼後六、〇〇 子供の時間 お話と錄音「山のヒグマ」農學博士犬飼哲夫

▼後七、三〇 國民歌謠

▼後八、〇〇 管絃樂「交響曲第四番」ニ短調（シューマン曲）日本放送交響樂團（指揮）ヨーゼフローゼンシュトック（解說）牛山充

▼後八、四〇 落語「睡火事」（解說）岡鬼太郎 桂文樂

---

（夜間診療）
胃腸性病
內科
胃腸病科
花柳病科
性病科
皮膚科
專門
胃腸性病 松村醫院
平市南町（電話一〇七番）

五ケ年保證の
ラヂオ アンテナ線
一臺分の價格約二圓五十錢
品切れにならぬ內に
お早くお求めを乞ふ
公認甲種 石田電機工業所
平市研町五〇（電話呼二五七）

御會葬御禮
昭和十四年一月十九日
福島縣平市研町
妻 佐藤キニ
男 佐藤一
外親戚一同

---

## 愛憎三度笠
吉川英治作　瀧秋方畫

……（164）……

### 密偵 三

「考へて見ねえ、こんな馬鹿馬鹿しい話はないぢやないか、こゝにゐることはあぶねえよ、それに、時節が時節だ、お前さんが一人でつまらない宿などについて見ねえそれこそ人質稼業の恐ろしい宿に引つ張り込まれねえとも限らないし、つまんないぢやないかね」

「さうですね」

お綾は、この男の話を聞いて居る間に、何だか世の中が恐ろしくなつて來た。

「はやくしなさい、惡いことは云はねえ筈だよ」

「でも、もしかあの方が、此處へ歸つて來なすつたら……」

「大丈夫、歸つて來やしねえ、歸つて來る以前に役人達が踏込んで參りますよ」

「さうでせうか」

「俺は、ここの家の秘密は大方知つて居るんだよ、盜んだ金がたしかあの床の下か、天井かに隱されてゐる筈だ、一寸待ちな」

といつておいて、その男は壁をめくつたり、天井板をはねたりがた／＼と探して居たが、漸く手に入つたのが小判で五枚

「おや／＼これだけしかなかつたかなア」

と、山吹き色に光る小判をお綾に見せて

「それ見ねえ、この金だつて、あの女が、枕さがしをやつて、盜んだ金なんだ、兎に角、これこあれば當分は困らないよ」

と、ニヤリと笑つた。

「それを持つてお出でになりますの?」

彼女は聞く

「どうせ、この家は空屋になるよ」

「でも、澤山の荷物が……」

「からつぽだよ」

その男の言葉につられて、お綾は外に何處を當ともなく出てしまつた。

夜は次第に更けて行つた。

歩けど、歩けど、容易に町へは出て來ない。お綾は、初めて不安を感じたが、そこは何處なつてゐたのであらうが、お綾にはその邊の地理はわからないのだから少しも見當がとれなかつた。

路のそばには、流れる谷の音が聞えて、プンと青葉のにほひがする。

お綾は、今後どうしてよいかと思案をしはじめたのである。

人家の少い所で逃げだせば、この男のために追跡されて、どんな暴行を加へられるか、考へてもぞつとする。

「あの、こゝは、どこなんでせう」

と、お綾がたづねると

「こゝかい、こゝは、老いの坂だよ」

「老いの坂と申しますと、あの有名な丹波に越える道ぢやありませんか」

「おゝさうだ、おまへさんよく知つてるね」

# 趣味

## ××廢品利用××

**裾廻し**　濃い色は色揚げして再び裾廻しに用ひます、又繼ぎ合せて、着物の胴裏などにします　この繼合せの際つたものを組み合せた場合は一色に染直すことです

---

# 女の性

## 何はおいても

上野シゲ子

婦人雜誌などで家事經濟とか家庭經濟の記事などを讀みたいといふので講師を物色するこんな記事こそ永年實地に經驗を持ち研究をした主婦にお願ひしたいものである

この方面にまで男子の力をからねばならないとは殘念かつ恥入の極であるとさへ考へる、しかし現實のところ婦人に適當な方はあまり多く見當らない、あつたらそれは純粹の主婦ではなくて、大抵は學校の先生などである、結局講師も男の方にといふことになる。

新聞や雜誌でも料理の作ひ方、御飯のたき方、アイロンのかけ方等に至るまで敎へて下さるのは大方男子の方であるといふ現狀である

從來の主婦は家庭作業は自分の本職でありながらその職場で働くことをきらひ、至つてそれに無關心であり、なげやりであり只苦ながらも勉強するにすぎなかつた。

しかし現代の聰明な主婦は自己の本分をはつきりと見定めながら家庭作業の中に科學を發見し研究と改善とを忘つてはならない。

家庭の合理的及び科學的管理によつては時間と勞力と經費とを十分にあますことが出來るのであつて、その結果は個人の家庭がユトリある生活をたのしみ得るばかりか、かゝる家庭を單位とする社會も國家も健全な發達を遂げ得るのである

主婦は何はおいても先づ家庭内の仕事をマスターすべきであり家庭のことは男子に敎へてもらずとも事すむやうになりたいものである。

## ムカゴの鹽いり

山のいもの實ムカゴは買つても安いしまた郊外や地方ではたやすく採集出來ます、よく水洗ひして乾かし、水分をとり、ゴマ油でカラ揚げいたします、新聞紙の上にとり包むやうにしてよくもんで油氣を除き、大さじ一、二はいの食鹽をムカゴがやつとかぶる位の水に入れて鍋でゆすりながら煮てをりますと水分が無くなつてムカゴに細かい粉になつた鹽がついてすぐいたゞきますと酒のさかなに結構です

☆　☆　☆

# 食事の注意その他

……出産期に備へて出産並びに乳兒に對する一般的な注意をお傳へしませう……

## 初産の方々へ

出産についてはいろ〳〵と注意すべき點がありますが、こゝでは特に排便と分娩前の食物について申し上げます

**分娩**　期に便所に行くことには、いろ〳〵な意味で避けるべきですが、排便が完全でなければ陣痛を弱めますから、陣痛の[illegible]時には、自宅浣腸によつてお腹を空にしておくことです

陣痛や出産の時産婦は非常に強い力を必要とします、この時力が出ないとお産が長引きますから、分娩のはじまる前、消化のよい[illegible]食物を[illegible]にでも[illegible]るやうに心掛けることが大切です

また陣痛の間歇時には非常に口が渇きますから、番茶や水を用意して少しづつ飲むとか**氷の**のかけらを含むとかしますと大へん樂です

出産は、胎兒が充分發育して母體から隱れ出ようとして自然に起る陣痛と、早く産まうとする産婦の腹壓とが一緒になつて起るのですから、産婦の心掛次第で陣痛を、俗に云ふ「いきみ」を加減して、或程度まで出産を輕くすることができます

◇……◇

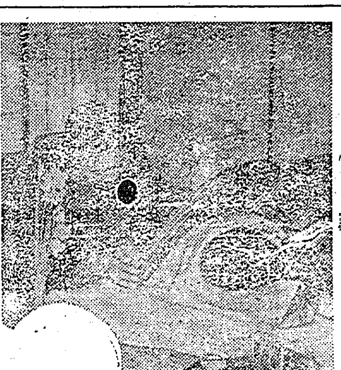
乳幼兒のかゝり易い病氣は、先づ臍帶、臍の病氣です、臍のとれ工合が惡くて臍肉芽が出來たときは、すぐに醫者にみてもらふことです、大抵は二、三回で治ります

**臍の**　たれをそのまゝにしておきますと、[illegible]や丹毒等の[illegible]を[illegible]あつて危險です

生後一ケ月以内に[illegible]なものが臍へにできて盛り上がり、やがて上皮がくるつけることがあります、これ臍[illegible]といふもの[illegible]素人[illegible]は危險で、專門醫療を必要とします

今年のやうに天候不順ですと吐乳したり下痢したりすることがありますから、そんな際は手當を早速にすることです

**生れ**　た乳幼兒に長時間ものませないでおきますと[illegible]出す事があります、それで生後四、五時間ごとにうすい砂糖湯を清潔なガーゼにひたしてあたへると、豫防にも治療にもなります



---

# 萬一火事が起つた場合は？

## かういふ處置を取る

**[illegible]**

火事はおこさぬやうにするのが第一ですが、天災的にさけられない場合もありませう、萬一火災を起したらば消防署に知らせること、大聲で近所に知らせることを第一にしなければなりません、火災の電話がかゝつた時は躊躇なしの「一一九」と廻すとすぐに出ます、但しこの番號で火災の問合せにはお斷りいたします、[illegible]不便な場合は最寄の交番へ驅けつけることです、火勢の出ない場合はバケツでも何でもたいいて

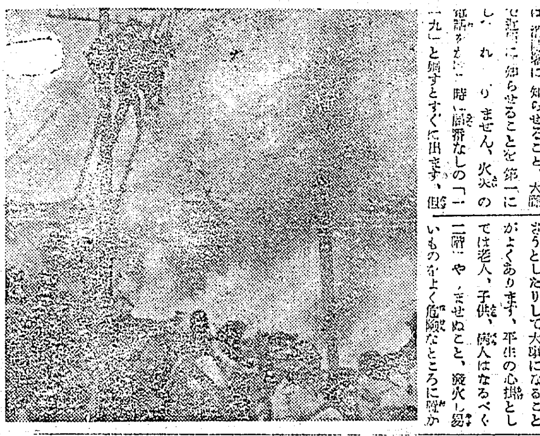
**早く**　近所へ知らせます、ぐづ〳〵してゐたり、自分一人で消さうとしたりして大事になることがよくあります、平生の心掛としては老人、子供、病人はなるべく二階にやすませぬこと、發火し易いものをよく危險なところに置かないこと、重要なものはいつでも手早くもち出せるやうに用意して置くことです、近隣協力して消すために夜間は戸口でバケツに水をみたして置きます、一杯のバケツの水で火事を未然に防ぐことはよくあることです、二階から外に下りる時はフトンの類を多數投げ下して其の上にとび下りるか廊繩か帶を結び、それにつたはつて下りるやうにいたします、そのためには丈夫な紐をふだんから

**……用意……**　して置かねばなりません、家財に執着すれば生命を失ふことがありますから、先づ老人や子供を安全な場所に避難させ家族の人たちにまちがひのないやうに、荷物などは後にいたします

また荷物を出す場合見知らぬ人に渡してはなりません、折角苦心して出した荷物が紛失してしまふことは火事には多いのです、油や藥品から發火した場合あわてゝ水をかけますと益々大きくなりますから、土、砂、灰、ぬれたむしろ、ふとんなどをかけます、油鍋から發火することが非常に多いのですが、萬一火がはいつた場合はウドン粉、或は青菜を投込むと

**……消え……**　ますから、テンプラなど揚げる時はそれらのものを手近の所に用意しておくことです

注意しなければならないことはたくさんありますが、何よりも大切なことは心のおちつきで、折角日頃から用意して置いたこともその場の處置がわるければ何にもならなくなりますから、精神的の準備を第一といたします



---

# 喪服を召す　ご注意の數々

## お若い方・年輩の方へ

喪服をお召しになる機會が多いと存じますが、その場合特に注意したいことは、お若い方でも帶上げやお襦袢は全部白をお用ひになつて頂きたいのであります、帶止めは黑の細目がよく、帶上げはお若い方でも結び目を全部帶の中へ入れて、帶山も低いのがよろしいと存じます

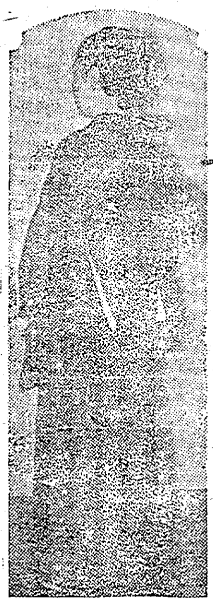
【註】喪服は、帶上げが見えて居ますが、これは喪服で帶上げを見せない樣にしますと、帶とお召物の境界がハツキリしませんのでわざと出しました

**お着付の**　際は衣紋を[illegible]、そしてなるべく前を合せ氣味にします、これはお步きになるとき、下前が見えぬためでございます、お化粧も白と黑の兩方で[illegible]になる方がありやすが、これにやはり[illegible]がよいと思ひます、お化粧は白粉ばかりの[illegible]では不健康に見えますから、紅を

**うす目に**　ひきます、お髮はお若くても飾りはなしにし、指輪も[illegible]以外はなさらないと存じます

らの方がよいと思はれます、御紋章とか、お悔みの場合やですが、今日では一般に無地紋が用ひられて居ります、[illegible]成べく[illegible]がよくお[illegible]白にいたします、御年輩の方たらお召物[illegible]おめしになるとよいと思ひます、お襦袢の[illegible]白にして、ぬひ紋などでも金糸をお使ひになつたのは[illegible]下さい、はき物はやはり[illegible]よろしいのであります

**以上の外**　に特に氣を付けなければならぬことは、折角衣裳にお支度ができてゐるに下着のおえりが色物だつたり、お召物が色物であつたりする事々ございますから、この場合から上まで全部白と黑といふ風をモツトーにしてお着付をなさいと存じます



---

☆　☆　☆

# 人間は顔負け

## ロボツト交通巡査

ブタペストの交通繁雜な十字路にはこの程ロボツト巡査が出現した、電燈標識を手に整理に與る許か、面白い事に背中に電話がついてゐて、萬一交通事故の起つた場合には誰でも直ちに警察と病院へ知らせる事が出來る仕掛、ポケツトには[illegible]地圖、[illegible]交通地圖、交通規則[illegible]が入つて[illegible]利用[illegible]

# 飛行機で一家全滅

◇□◇□◇□◇

## 日本で見られぬ

「飛行機で一家全滅」などは一寸日本では飛行機の盛んなフランスでもないとあまりお目にかかれぬ事、あらう、南佛ボルドー附近のネリアツク町のガリツクといふ小商人、[illegible]飛行機の操縱が唯一の道樂だつた[illegible]、去る十一月三十日[illegible]妻をはじめ十六歳になる[illegible]妹、妻の女と友人一名、合計[illegible]愛用の双發動機付飛行機に[illegible]て近郊周遊旅行と出かけたのであつたが、ルビアツクの上空にしかゝるや突如機關の故障で一同慘死を遂げた、[illegible]押せつかつた長男一名のみ[illegible]といふ

---

# 祖國

堀健吉作　畠野奎三畫

## 夜の新宿　四二　（三）

八木は突嗟にこの時、その男はかつて自分を淺草公園の屋上でつきとばした彼の態度にどことなく似通つてゐると感じた。

「これは面白い」

八木は彼女の手をぐいと引いて何も云はずにすた〳〵と追つかけはじめた。

ガードの下へ入つた時、あの松葉づゑの男はまさに新宿驛の裏口へと上る所だつた。

「とり逃がすぞ」

彼はかうおもひながら、もつと足をはやめた。

此の時、その松葉づゑの怪漢は何か白い紙片を、ずた〳〵に引きやぶつてすてゝ行つた。

八木はその紙片をすてゝゆくのは自分の注意をそこへ逸らして、追跡からまぬかれようとするその男の手段にすぎないと觀破した。

それで、その紙片には眼もくれずにさつさとガードから坂をのぼつて表口へ出た。

自動車の警笛の音と、電車の音とがこゝではけたゝましく夕暮の灯の街にあふれてゐた。

この空氣は今にあの音にふくれかへつて、つひにそれをつゝみきれなくなつて、パンクしてしまふのではないか、とおもはれるくらゐに街はどよめいてゐた。

彼は群衆の中に、この時すでに松葉づゑの男を見うしなつてしまつた。

あきらめかねたものゝ仕方がないので、彼はちえつと舌打ちをして、

「また　まかれたな」

と、云ひながら不良女學生をふりかへつて苦笑した。

「いかゞですか。どこかで夕食をとりませう」

「はあ、どちらにしませうか」

「[illegible]はいかゞです、それとも中村屋のインド・カリーでも」

「いゝえ、私ザクスカの方が結構ですわ」

二人は中村屋の二階へ上つた。

注文の品がはこばれると、八木は口をひらいた。

「實は、外でもありませんが、わざ〳〵今晩お呼びたてしたといふ次第は、先日の大學祭の日の貴女なんですが、あなたは病理教室からあをざめてよろめきながら出て行かれましたね」

彼女は不思議な顔をして、

「いゝえ、そんなに元氣がなかつたわけではありませんわ、私はあの日、自分の研究室で色素つぶをうさぎの肝臟に注射して居りました。そのとき千葉博士に呼ばれまして、お茶の御馳走になりました。ところが不思議な事に、いえいえ不思議でも何でもありませんわ、研究でつかれてゐたせいでございませう。あたゝかいお茶で體があたゝまりましたので、急に眠氣が出て來たものと見えます。あわてゝ私は研究室へ引きかへして机の前に御伏になつて、約半時間ばかりうたゝ寝をしたやうにおぼえて居りますの」

彼はきつねにつまゝれたやうに眼を丸くした、さては木良も千葉教授とぐるなんだらうか。

いや〳〵たしかに木良はさうぢやない。

そこで、も一度口をひらいた。

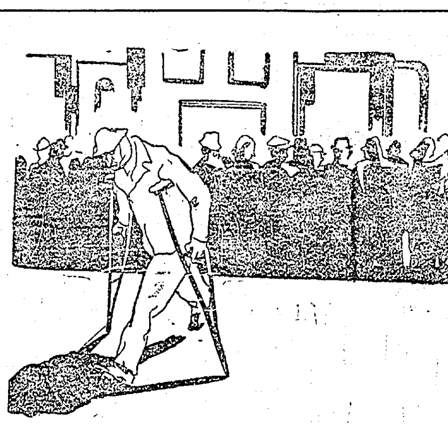
「貴女のおやすみになつてゐるとき、悲鳴をお聞きになりませんでしたか。女の悲鳴を！　あの悲鳴はあなたの聲にそつくりでしたねえ」

「まあ、なんでせうか。私ちつとも、氣がつかないんでございますわ」

あわてた餘り言葉づかひさへあらためて彼女は云ふのであつた。

「それではもう一つおたづねしませう。教授の部屋か或は研究室に女の方が見當りませんでしたか」

「私、そんな人見うけませんでしたわ」



---

男女工募集

一、經驗工　數名
一、雜役工　數名
一、見習工　數名

右何レモ十六才以上
希望者ハ履歴書携帶至急來社セラレタシ

平市堂ノ前
合資會社 平電氣鑄鋼所
電話 二六番

花柳病科外科
木村外科醫院
平市六丁目橋際　電話三〇九

國旗と提灯

◇食通の！
一ロカツ と シユウマイ
出前迅速 電28番
福壽軒食堂
平市田町

家傳 安流丸
梅毒と
たい毒
吹出物に
はれものは
安流丸
に限る
阿部藥舖
平市田町

お醤油はヤマフル
醤油味噌
たひら正宗
鰹節食料品
福島縣平市
醸造元
鹽屋
電話一〇 二七番
明治生命磐城代理店
山崎與三郎

御婚禮御着附
パーマネントウエーブ
和洋結髮
オゾン美顔術
御染髮洗毛
御爪美術
平市驛前
水野化粧院
電話六七(營業所) 五二五八(自宅)

吉田眼科醫院
平市紺屋町電話六八番
醫學士 吉田久雄

冬物は
是非！
當店から
（在庫豊富）

玉屋洋品店
平田町通電話六五六番

メガネ專門の店
メガネは絶對信用ある當店に先づ御相談下さい………
平市本町二丁目　玉屋

（病室完備）
（入院隨時）
根本産科婦人科醫院
平市南町五二
根本莊次郎
根本貞雄
【電話四三番】

シモヤケ家傳藥
是までシモヤケは暖かくならねば治らぬものと諦めて居つたのが一日二、三回の御使用でクヅレたシモヤケも忘れたやうに完全に治ります。
現今の塗藥は異つた療法により根本から除去するものであります。シモヤケは寒さの爲になるもので塗藥では決して治るものではありません又クヅレタシモヤケに塗藥では塗布と同時に痛みを感じたりカユミを增したり致しますが此藥は無刺戟の中に心地良い療法により皮下の血行を良くし幼きお子樣方にも喜ばれて如何にクヅレたシモヤケでも完全に治る事保證致します。
（定價三十五錢）
東京市丸井邦寶堂
茨城福島兩縣特約販賣
平市一丁目　伊藤石炭店　電話三四九番

專門
……◇……
花柳病科
婦人科
産科
……◇……
▼入院隨意
井坂醫院
平市田町　電話五五九番

喜多流謠曲と仕舞のお稽古をお奬め致します
入會隨時
平市田町六九
喜多流謠曲仕舞 白土會
電話一一七番